



明治大学 労働講座 「未来の自分をつかめ ～OB.OGの働き方とおして考える」



2015.4.21

マタハラNet -マタニティハラスメント対策ネットワーク-
代表 小酒部さやか

プロフィール(1/2)

小酒部さやか



◆2015年3月、女性の地位向上などへの貢献をたたえるアメリカ国務省の「国際勇気ある女性賞」(International Woman Of Courage Award 2015)を、日本人で初めて受賞。

◆ホワイトハウスでミッシェル・オバマ夫人と話した経験もあり、国内・海外を問わず多数のメディアに注目されている。

◆自身の受けたマタニティハラスメント被害をもとに、妊娠・出産後も安心して働き続けられる社会の実現を目指して、2014年7月にマタハラNetを設立。

■コメント

日本では、いまだに第一子の妊娠を機に、6割の女性が仕事を辞めるという状況が続いています。しかし、昨年、安倍首相が「女性が輝く社会」を政策の柱に掲げ、日本でもやっと、女性が働き続けられる社会を作るべきだという必要性が認識され始めました。

少子高齢化が進み労働人口が減っていくこれからの日本では、女性をはじめ男性はもちろん、若者や高齢者、育児や介護をしている人など、さまざまな状況の人たちが、働き続けることの出来る社会が求められます。長時間労働を見直し、ワークライフバランスの重要性が社員の能力を最大限に引き出す手段として認識されることを切に願います。

プロフィール (2/2)



写真はADK松竹スクエアの頃
現在は虎ノ門ヒルズにオフィスを移転

■経歴

1996年3月 私立桐蔭学園高校 卒業
1999年3月 明治学院大学法学部法律学科 中退
1999年4月 すいどーばた美術学院予備校(奨学金生採用)
2001年4月 多摩美術大学美術学部グラフィックデザイン科 入学
2005年3月 多摩美術大学美術学部グラフィックデザイン科 卒業
2005年4月 (株)アサソーディ・ケイ 入社
クリエイティブ職アートディレクター(正社員)として採用
商品開発、平面広告、パッケージデザイン、CF制作に従事

その後、転職した会社で、契約社員として雑誌の編集業務に従事する中、マタニティハラスメントの被害に遭う。

2014年7月 マタハラNet
～マタニティハラスメント対策ネットワーク～ 設立

他の被害者女性や会の趣旨に賛同してくれるメンバーとともに立ち上げ、代表を務める。

2015年7月 NPO法人化予定

マタハラとは？

「マタハラ」とは、マタニティハラスメントの略で、働く女性が妊娠・出産をきっかけに職場で精神的・肉体的な嫌がらせを受けたり、妊娠・出産などを理由とした解雇や雇い止め、自主退職の強要で不利益を被ったりするなどの不当な扱いを意味することばです。

「セクハラ（セクシャルハラスメント）」「パワハラ（パワーハラスメント）」とともに働く女性を悩ませる**3大ハラスメントの1つ**ですが、社会的な認知はまだ十分に進んでいません。

妊娠・出産・育児という状態で行われるハラスメントのため、**女性の泣き寝入りが多い**のが、露見してこない理由と考えられます。

その一方で、2013年に日本労働組合総連合会が発表した調査では、**25.6%（4人に1人）がマタハラ被害を受けた**との結果があり、水面下には多くの泣き寝入り女性がいると思われます。

妊娠中の嫌がらせによる流産・早産の危険性もあり、マタハラの被害の実態は、よく知られる“セクハラ”よりも深刻であるといわれ、対策が急がれています。

女性が通るマタハラ3つの関所

●関所1：妊娠を報告する時に…

- 妊娠解雇
- 退職勧奨
- 雇用形態の変更（パートや契約社員へ）
- 不妊治療時期から退職勧奨の兆しあり

※マタハラドノミ倒し

マタハラ⇒晩婚化⇒晩産化⇒少子化



●関所2：育休から復帰する時に…

- 育休切り
- ※マタハラドノミ倒し

マタハラ⇒待機児童・保育園の退園⇒就労不可能⇒経済難

●関所3：仕事に復帰した後でも…

- 時短勤務させてくれない
- 降格（キャリアリセット） 例：広島のマタハラ裁判
- 給与の減額、ボーナスの減額
- 転勤、転属させられる
- 雇用形態の変更（パートや契約社員へ）

北風と太陽（イソップ童話）



国際勇気ある女性賞とは

◆国務長官の「国際勇気ある女性賞」とは、
個人的な危険を省みることなく、大きな勇気とすぐれた指導力を発揮して人権、男女平等、社会の進歩を訴える活動をしてきた世界各地の女性をたたえるために、2007年に制定された。

◆世界各地の新たな女性指導者に敬意を表する国務省唯一かつ最大の賞である。

◆先進国の受賞は極めて稀。

主要7カ国（G7）出身者が受けるのは初めて

◆日本人で初めての受賞

◆2015年受賞者

- ・ Afghanistan アフガニスタン
- ・ Bangladesh バングラディッシュ
- ・ Bolivia ボリビア
- ・ Burma ブーマ
- ・ Central African Republic 中央アフリカ
- ・ Guinea ギニア
- ・ Kosovo コソボ
- ・ Pakistan パキスタン
- ・ Syria シリヤ
- ・ Japan 日本



ミッシェル夫人とホワイトハウスにて



最初のペンギン



マタハラNetについて

本日は、講演をご拝聴いただきまして、誠にありがとうございます。

現在、働く女性の6割が妊娠・出産を理由に離職しています。そして妊娠経験のある女性労働者の**4人に1人が「マタニティハラスメントを受けたことがある」**との報告があります。この**現状を少しでも改善できないかと**、マタニティハラスメント問題に取り組む会「**マタハラNet～マタニティハラスメント対策ネットワーク**」を、実際に被害にあった**経験者たち**で立ち上げました。

今後職場にてマタニティハラスメントの被害に遭われた場合には、**マタハラNet (against.matahara@gmail.com)** までご連絡ください。

会の名称「 マタハラNet」

●blog

ブログ「マタハラNet」で検索ください



<http://mataharanet.blogspot.jp/>

**CONTACT USよりご連絡を受付けております。
2015年7月にはNPO法人化予定です。**

●Facebook・twitter



アカウントをお持ちでしたら「マタハラNet」と検索してください。

マタハラ関連のニュースや情報、交流会やお茶会の告知をしています。ほぼ毎日更新、情報を発信しております。

シェアやいいね！をお願いします。